

悟の失敗 一部改作

【前半部分】

悟と健太は小学五年生。二人とも大のサッカー好きだ。クラスは違うが、休み時間にはいつも仲間と一緒にサッカーを楽しんでいる。中でも二人のチームワークは抜群だ。

「健太、いくぞ。」

「おお。」

と、声を掛け合い、敵の間をする抜けてパスをしていく。たまにパスがそれると、

「何やってんだよ。しっかり取れよ、健太。どじだな」

と、悟の大声が飛ぶ。でも健太も負けてはいない。

「悟のボールが弱いからとどかないんだよ。」

と言い返している。でも、決して喧嘩をしている訳ではない。悟は笑っているのだ。周りの子たちに、

「そんな言い方、ひどくない？」

と言われても、

「平気、平気。俺たち気持ちを通じ合っているから。なあ、健太。」

「そうだよ。なつ、悟。」

「今度は、ちゃんとやれよ。」

「もちろん、当たり前さ。」

と言って、また走り出す。本当に仲のよい二人だった。

【後半部分】

ある日曜日のこと。二人が入っているサッカークラブと、隣町のクラブチームとの試合があった。この試合に勝つと地区の代表に選ばれる大事な試合だった。もちろん悟と健太もレギュラーで出場だ。

試合は、接戦だった。一対一のまま後半戦になった。そのときチャンスボールが悟のところに来た。すかさず、ドリブルをしながら健太の方に大きく蹴った。

「頼んだぞ。」

次の瞬間、受け取ろうとした健太の体が消え、ボールは敵に奪われてしまった。健太は足を滑らせ地面にばったりと倒れた。

結局、このミスからゴールを奪われ、一対二で悟たちのチームは負けてしまった。チームのみんなはいつになくがっかりして、話すこともなく、片付けが終わるとすぐに帰ってしまった。

悟もそんな一人だった。でも、家に帰ってしばらくたつと、健太のことが気になってきた。試合の後、一言も言葉を交わしていないことに気付いたのだ。

「あいつ、がっかりしているだろうな……。元気づけてあげよう。」そう考えた悟は、さっそく健太にメールを送った。

次の日、悟は、「健太から返事が来なかったけど、昨日のメール読んでないのかな。」と考えながら学校に向かった。

廊下の向こうから健太がやって来たので、悟は声を掛けようとした。しかし、どうも様子がおかしい。いつもならすぐにあいさつをしてくれるのになぜか悟を見ないようにしてさっさと行ってしまった。(えっ、いつも話しているように打っただけどな...)。と思うて、もう一度メールを思い返しました。

メール

題名

「ちゃんとやれよ、健太」

今日の試合は残念だったな。

せつかく俺がいいパスを回してやったのに、肝心なところで転ぶなんて、本当にどじだよ。

試合も負けちゃうし。

足は怪我しなくてよかったな。

次の試合では、ちゃんとやれよ。じゃあな。

悟より